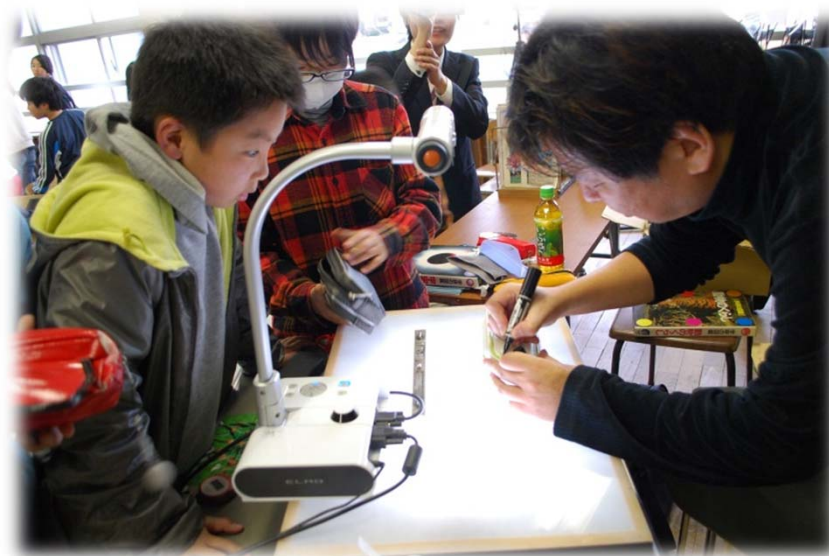


練馬区「アニメ産業と教育の連携事業」

夢に向かってやり遂げる
“ココロ”と“チカラ”を手に入れよう！



練馬区・練馬アニメーション協議会
(発表者：練馬区商工観光課長 米 芳久)

まずは子供達が作ったアニメ作品をご覧ください！



練馬区立大泉東小学校（スタジオはらぺこ）制作
「アラ？落ちてきた！」



アニメのプロがこんなこと、伝えていきます！

○ 絵のうまさだけが重要じゃない！

- ・アニメの面白さは「どう動くか」。モノはどう落ちていくのかな？をよく観察してみよう！

○ 誰に何を伝えたいか？

- ・アニメは映像だけで作り手の想いを伝えることができる。相手がどう感じるか考えながら進めよう！

○ アニメづくりは協働作業！

- ・実際の制作現場も多くの人が手分けして作業している。みんなが意見を出し合って、時には自分の思い通りにならなくても、いい作品を作るため、協力し合おう！

みんなの学校の
まわりにもアニメ
の会社がたく
さんあるよ！

アニメーターを
目指したのは絵
を描くのが好き
だったから！



取り組みから得られた教育効果

○ 子供達の声から分かったこと

- ・ 練馬でこんなにたくさんアニメが作られていることを知ってびっくりした
- ・ 手の動きが鮮やかで、プロはすごいと思った
- ・ アニメーターは描くだけではなく、演技力も必要ということがわかった
- ・ たった2枚の絵でも動いて見えた
- ・ たくさんの人が役割分担してアニメを作っていることを知った
- ・ 班の皆で協力し描いたことで、思い出が残る作品を完成させることが出来た
- ・ 一人一人の力は弱くても、沢山の人が集まれば強くなることが、アニメ制作を通してわかった
- ・ これからは好きなアニメを感謝しながら見たいと思う

地域産業
職業への理解

アニメに対する意識
消費者→生産者目線に

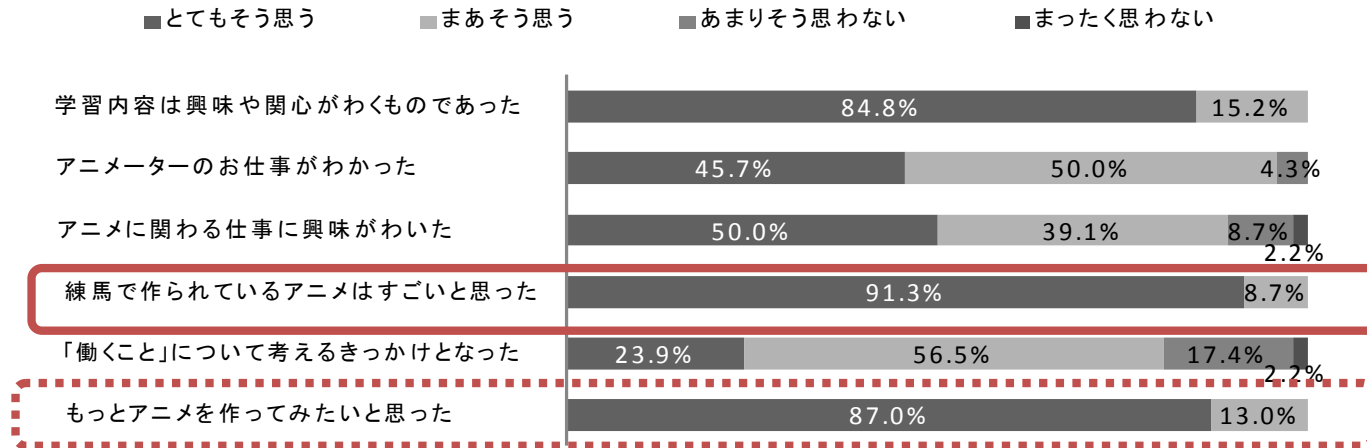
仲間を認め合う力

将来の生き方への
きっかけ作り

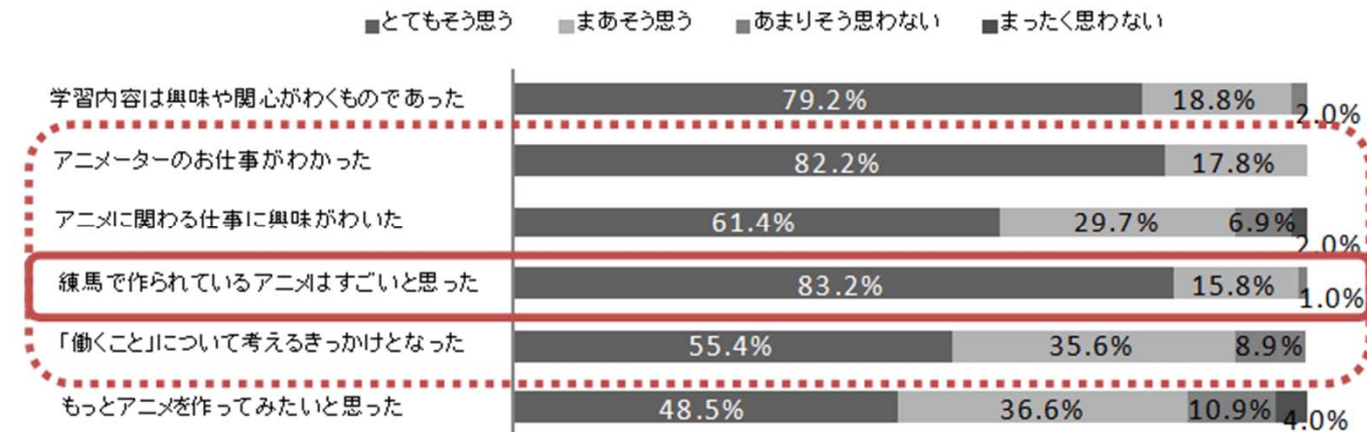
アニメを通じて
再発見する

アンケート結果

○ 石神井東小学校（総合的な学習の時間・アニメ制作体験プログラム）



○ 富士見台小学校（総合的な学習の時間・職業に出会うプログラム）



アニメのまち 練馬区



- 東京都23区の北西部に位置、人口70万人

- **ジャパンアニメーション発祥の地**

- ・ 1958（昭和33）年、日本初のカラー長編アニメ映画「白蛇伝」制作
- ・ 1963（昭和38）年、日本初の連続テレビアニメ「鉄腕アトム」制作

- **日本一のアニメ関連企業の集積地**

- ・ 全国にあるアニメ関連会社626社のうち、練馬区には94社が所在
- ・ 2004（平成16）年、区内のアニメ事業者50社以上が集まり、
「練馬アニメーション協議会」が設立される（現在52社加盟）

- **地場産業である「アニメ」の魅力を子供達に伝えたい！**

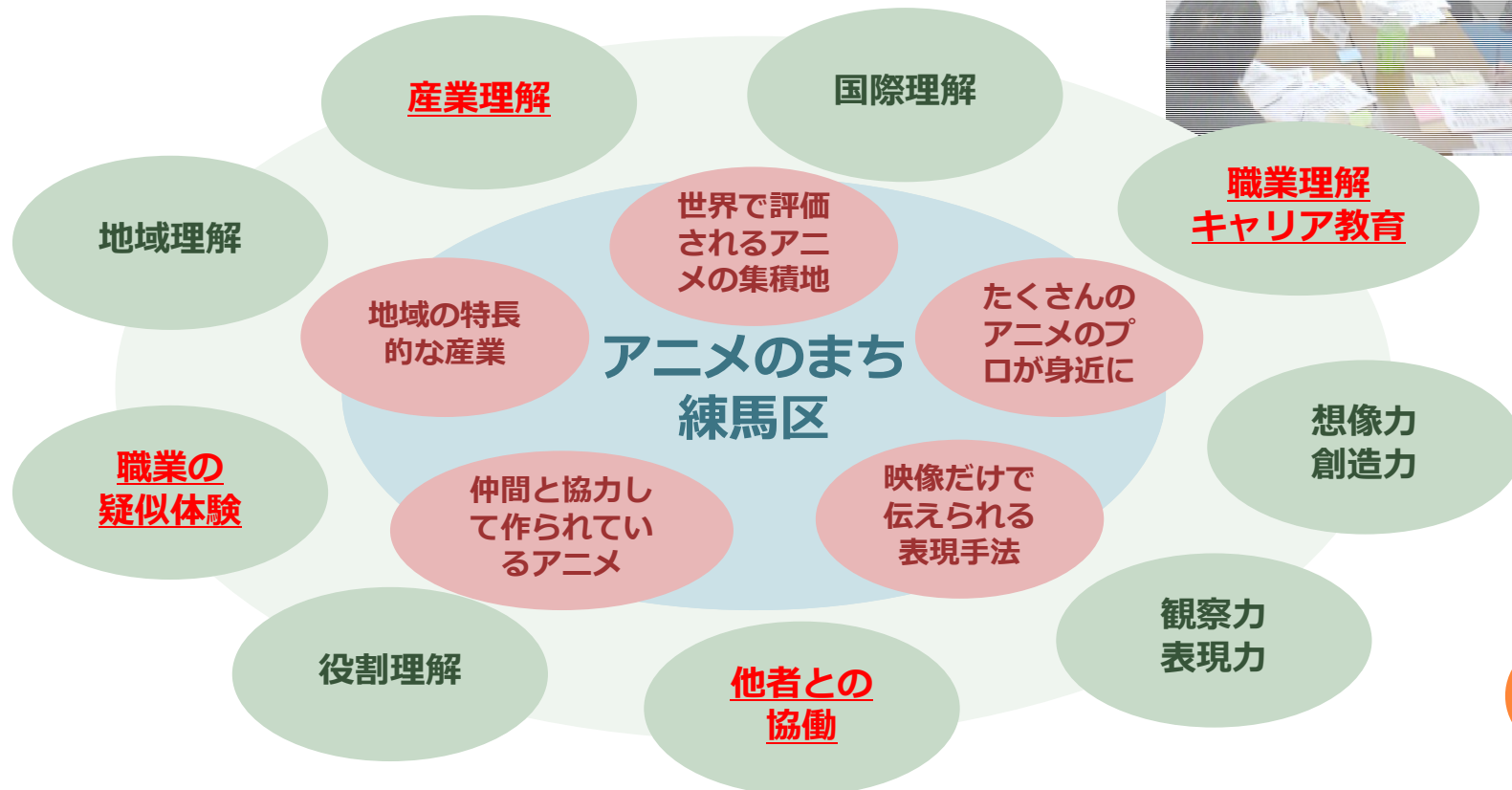
- ・ 平成21年度から区（商工観光課）と協議会が協力して取り組みを開始



「アニメ」に秘められた教育資源

○ 教育現場で求められることは何か？

- ・ 学校現場に浸透する教育プログラムをつくるため、学校で何が求められているか、という視点からアニメに秘められた価値を整理



検討会議の立ち上げ

○ 教員・アニメ事業者・学識経験者・行政が一体で検討！

- ・平成21年12月に、教育現場の実践者である教員、アニメ産業の専門家である区内のアニメ関連企業、学識経験者（区内大学である日本大学芸術学部・千葉大学教育学部の教授、NPOなど）、区（商工観光課・教育指導課）で組織する検討会議を立ち上げ。以後、定期的に議論を重ねている

- アニメってこんな教育資源になるのでは？
- こんな取り組みが参考になります！

- 子供達にこんな風になってもらいたい！
- こんな授業があったらいいな！
- 教育現場はこれを求めています！



練馬アニメーション協議会

- 地元企業の想いを知ってほしい！
- アニメに関わる仕事ってこんな感じです！
- 加盟企業に講師への協力を呼びかけします！

学識経験者

会議・グループ
ワーキングなどで
検討

区
商工観光課

- こんな実現方法はどうですか？
- こんな広報してみませんか？

小・中学校
教員



区
教育指導課

- 学校に普及させるためのノウハウあります！
- 指導課主催の研修会を実施しましょう！

事業目標の設定

○ 検討を重ね、「子供達へのメッセージ」を決定

- ・ 「アニメ = 絵を描く」 だけではない！
- ・ 多くの人 が協力してアニメ作品を作り上げていること
- ・ その作品が この練馬区から世界に発信されていること

夢に向かってやり遂げる
“ココロ”と“チカラ”を手に入れよう

練馬のアニメを活用して、手に入れたい「3つの“ココロ”と“チカラ”」

①
仲間と助け合う

- ◆ 仲間と役割分担し助け合う体験
- ◆ 職業疑似体験
- ◆ 「はたらく」ことや「仕事」を知る

②
練馬から世界へ
羽ばたく

- ◆ 「ホンモノの仕事」を知る
- ◆ プロ・スペシャリストに触れる
- ◆ 練馬のアニメ産業を知る

③
想像する
創造する

- ◆ 様々な手法の表現体験
- ◆ 相手の立場に立って伝える
- ◆ 作るおもしろさを体験する



アニメを活用した教育プログラム

○ 3つのプログラム

- ・ 検証授業を行い、平成23年度には3つの基本パターンを開発
- ・ いずれも区内アニメ関連企業から、プロのアニメーターなどがゲスト講師として1回～複数回参加する内容
- ・ 教員は、各校の教育目標・教育課程に合わせ、教科や時間数を選択でき、カスタマイズも可能
- ・ 学校への導入がスムーズに進むようコーディネーターを配置

アニメ制作体験プログラム ～仲間と力をあわせて アニメを作ろう！～

【学年】

小学校5・6年生～中学生

【教科】

図画工作・美術
総合的な学習の時間

【時間（目安）】

8時間程度～
※時間数は調整可能

職業に出会うプログラム ～アニメにかかわる 仕事を知ろう！～

【学年】

小学校4年生～中学生

【教科】

社会・総合的な学習の時間
（講演会形式も可）

【時間（目安）】

1～2時間
（講師による講演部分のみ）

クラブ活動・部活動プログラム ～絵が動く！を体感しよう！～

【学年】

小学校4年生～中学生

【教科】

クラブ活動・部活動

【時間（目安）】

8時間程度～
※時間数は調整可能
（講師による単発講演も可）



教育プログラムの一例①

○ アニメ制作体験プログラム

ねらい

- ◆ 仲間と協力してひとつのアニメ作品を制作するという「働く疑似体験」を通して、協働するむずかしさと大切さを実感し、自分の果たす「役割」を意識する。
- ◆ アニメーターの技術に触れ、アニメのしくみを理解する。
- ◆ 地元の産業について理解を深める。

知る

練馬区のアニメ産業の理解（1時間）

教員による授業

- 練馬区のアニメ産業・歴史を学ぶ。
- 講師の作品を鑑賞する。

アニメのプロの仕事を知る（2時間）

★講師★

- アニメの制作の流れの理解。
- 2枚の絵を動かしてみる～動くおもしろさの体験。
- アニメの作り方を学ぶ。

体験

アニメ制作体験（4時間）

教員による授業

- キャラクターとストーリーを作る。
- タイムシート～絵コンテの作成。
- 役割分担をして原画を描く。

深める

プロの視点でアドバイス！（2時間）

★講師★

- キャラクター・ストーリーのプレゼンテーション。
- 原画の制作状況の報告。→講師からアドバイス。

アニメ制作【細部の磨き上げ】（4時間）

教員による授業

- 作画（時間があれば彩色）。
- 撮影・編集。

伝える

発表する（2時間）

★講師★

- 企画プレゼンテーションと作品上映。
- 講師の評価。

振り返る

アニメ制作を通じて学んだことの振り返り

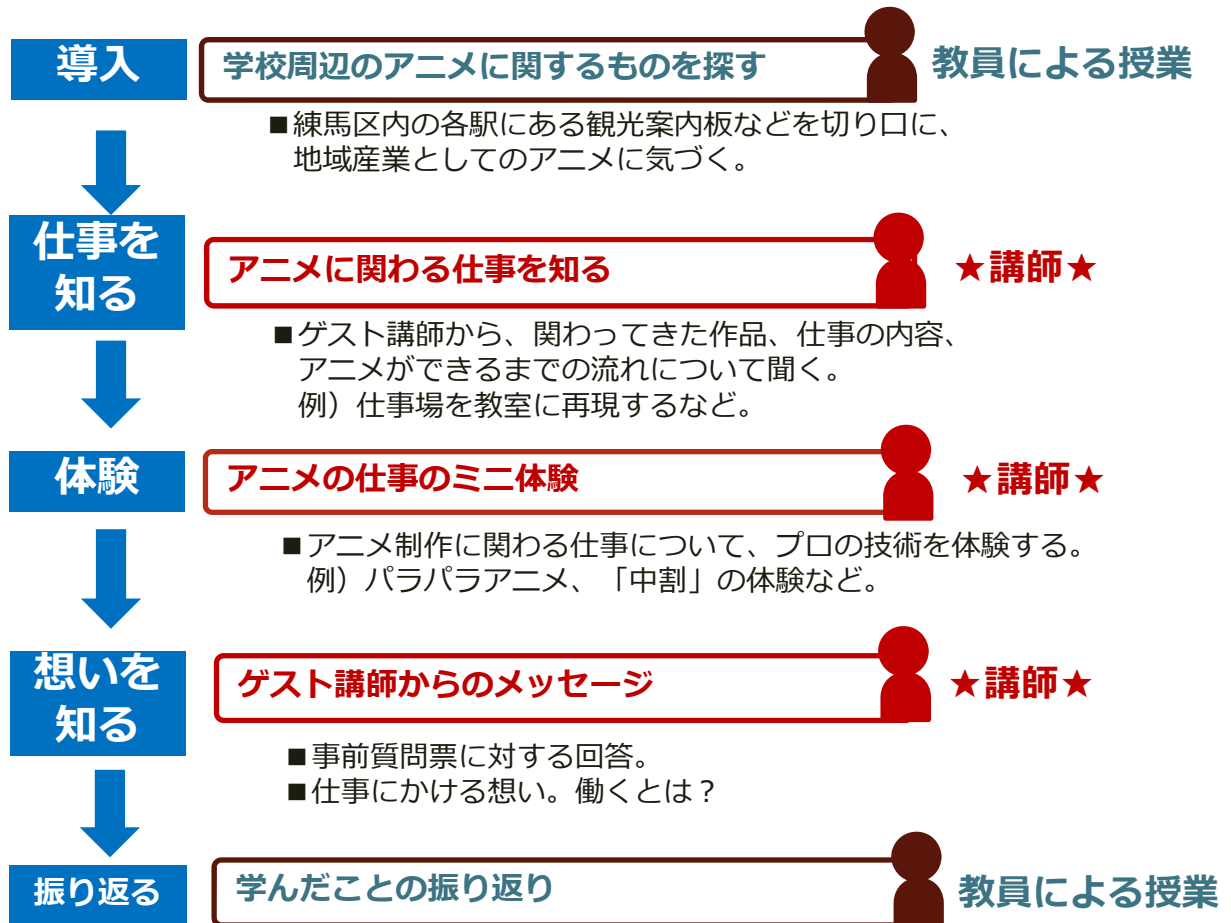
教員による授業

教育プログラムの一例②

○ 職業に出会うプログラム

ねらい

- ◆アニメに関わる仕事をする人に出会い、働く人の気持ちや仕事への誇りに触れる。
- ◆地域や産業を知ることによって、自分が将来どのように社会に関わっていくのかを考えるきっかけとする。



地域にあるアニメスタジオに職場訪問するケースも

プログラム普及への工夫

○ 区内小中学校の教員に対して…

- ・ 教員からは、「アニメ」に対する知識がないから不安、授業への位置づけ方がわからない…などという声

⇒ **ティチャーズガイド（プログラム紹介冊子）の配付**

…教育指導課に内容を相談しながら制作

- ・ 実際の授業を見てみたい…という声

⇒ **教員向け模擬授業を実施**

…教育指導課が主催する研修会に位置付けることで教員が参加しやすく

○ 区内アニメ関連企業に対して…

- ・ 講師として協力したいがなかなか忙しくて…という声

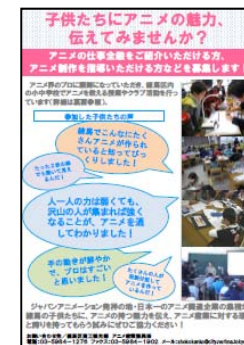
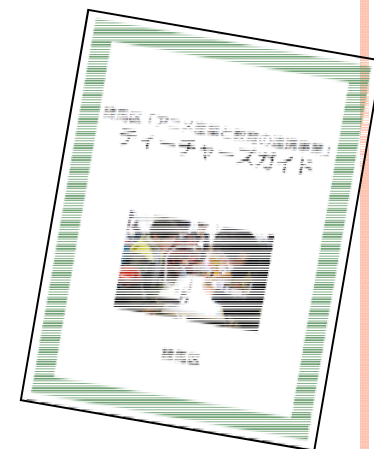
⇒ **どの講師でも活用できる共通の教材を開発**

…少しでも負荷が低い状態で協力してもらえる工夫

- ・ より講師候補を確保するために…

⇒ **実績のある講師陣の感想を載せたリーフレットを発信**

…講師として関与することの良さをアピール



多くの学校に広がった取り組み

○ 科目・学年・時間数・ねらい…学校ごとにさまざま

- ・平成22年度3校、平成23年度10校、平成24年度19校（見込み）で実施
【平成23年度の実績】

	科目	学校名	学年	人数	時間数	ねらい
小学校	総合的な学習の時間	石神井東小学校	6年	47名	25時間	地域を愛する気持ちを育てる／自らの生き方を考える。
		富士見台小学校	6年	120名	1時間	働く人の気持ちや仕事への誇りに触れる。
		東京学芸大学付属大泉小学校	4-5年	22名	22時間	アニメ文化の再発見／相手意識・責任感／国際理解。
	図画工作	関町北小学校	6年	99名	8時間	プロの仕事を通して生き方を考える。作る楽しさを感じる。
	クラブ活動	田柄第二小学校	4-6年	37名	1時間	ホンモノの仕事の凄さを実感する／作るおもしろさを知る。
		大泉東小学校	4-6年	21名	4時間+α	やりたいことにねばり強く取り組む姿勢を身に付ける。
大泉北小学校		4-6年	33名	1時間	ホンモノの仕事の凄さを実感する／作るおもしろさを知る。	
中学校	総合的な学習の時間 (職場訪問)	豊玉中学校	1年	7名	1.5時間	興味のある職業について理解する。
	部活動	開進第三中学校	1-2年	※講師による授業は未実施		プロのお仕事の凄さを実感する／動くおもしろさを知る。
		田柄中学校	1-2年	11名	1時間+α	プロのお仕事の凄さを実感する／動くおもしろさを知る。

- ・3年間で協力した講師数 11名、講師派遣 延べ45回（※見込み）



実際の授業風景



すごい集中力で作画する



突風が吹いた時、傘を持った人は
どんな動きになるかな？



プロの手さばきに感動！



教わったこと・わかったこと
をまとめる

取り組みの広がり

○ 作品発表の場

- ・ 学習発表会等の学校行事、インターネット動画配信・区主催アニメイベントなど、子供達の制作したアニメ作品の**上映の機会**を多く設けることで、子供達の**活動や学習の成果**を、保護者・アニメ産業関係者・練馬区民などと**広く共有**している



イベント・アニメカーニバルにて上映

○ 練馬区から世界へ

- ・ 区がアニメ産業交流協定を締結している**フランス・アヌシー市の小学校**とのアニメ作品を通じた**国際交流**を実施。平成23年度は2校で実践し、子供達が作ったアニメ作品やビデオレターを相手方に送り、その返事が返ってくるなど交流が続いている。アヌシー市では交流の様子がテレビにて放送された



アヌシー市カルノ小学校を
練馬アニメーション協議会と
区職員が訪問、作品を受け取った

教育現場の声…携わった先生方の感想

○ 練馬区立石神井東小学校 校長 高柳 誠 先生

- ・平成23年度、6年生47名が「アニメのまち練馬に生きる」というテーマで学習しました。学区域にある虫プロダクションOBの有原さんを講師にお招きして、アニメ作家としての生き方・技術・想いを教えていただきました。子供たちに課題追求力や創造性が高まり、約9割の子供がもっとアニメを作りたいと思うようになりました。本校も教育課程に位置付けて実践していますが、多くの学校にこの学習が広がることを期待しています



○ 東京学芸大学附属大泉小学校 大出 幸夫 先生

- ・平成22・23年度と、4・5年生が「日本のアニメを通して世界の人とつながろう!」というテーマで、アヌシー市の小学校と友達になるためにアニメ作品を作り、交流しました。地域産業である「アニメ」をツールとして、子どもたちが一つのチームになって「解決力・実践力」「多文化理解」「思いやりとたくましさ」といったねらいを達成することができました。この取り組みは、まだまだ発展の余地があると感じています



アニメ産業界に生まれた効果

○ 授業を担当した講師の声から見えてきたもの

- ・ 子供たちの情熱とパワーをすごく感じた楽しい授業になった
- ・ 普段アニメを制作していても視聴者側と接する機会は少ないので、子供達の反応が新鮮だった
- ・ 子供達の自由な創作を間近に見ることで、新しいインスピレーションを受けたり、創作意欲をかきたてられた
- ・ クリエイターとしての自分の仕事に改めて誇りを感じた大変よい機会だった
- ・ アニメのまち練馬区から将来のクリエイターが育ってくれればうれしい



(有)メビウス・トーン
遊佐 かずしげさん



虫プロダクション(株)
OB 有原 誠司さん



(株)動画工房
平松 岳史さん

地域への想い
地域貢献

仕事への誇り
やりがいの再確認

新しい
インスピレーション
創作意欲

普段接しない視聴者
との触れ合い

練馬アニメーション協議会が関わる意義

○ 代表幹事 石黒 竜 ((株)動画工房 代表取締役)

- ・ 協議会では、「アニメのまち 練馬区」の産業集積の力を活かし、常に新しいビジネス展開や産業活性化の方向性を模索し、時代に合わせたパワーを養うための活動をしています
- ・ 一方で、アニメという素晴らしい文化の魅力を広く伝えることも活動の主軸としています
- ・ 締切に追われるアニメ業界にとって、学校への人員派遣は、痛手であることは事実です。それなのに、なぜこの事業を実施しているか？
- ・ 授業を終えて帰ってきた講師陣の顔を見れば一目瞭然！顔がイキイキと輝いています。子供達との触れ合いは、言葉に表せない「やる気」を講師に与えてくれるようです
- ・ この取り組みには「地域貢献」だけでは片づけられない、子供達とアニメ界との化学反応を感じています



最後に…

- 練馬区の素晴らしい地場産業「アニメ」の魅力を子供達に伝えたい！という想いのもと、**教員・アニメ事業者・行政が絶妙なバランスで支え合い、実現**できている取り組みです
- この取り組みが練馬区全体に広がり、**たくさんの子供達が「アニメのまち 練馬区」を誇りに思ってくれる**ことが目標です！！



ご清聴ありがとうございました

